

## 指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:令和2年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	県民文化部文化政策課
指定管理者	一般財団法人長野県文化振興事業団

### 1 施設名等

施設名	長野県伊那文化会館	住所 電話 ホームページ	長野県伊那市西町5776 0265-73-8822 <a href="https://inabun.jp/">https://inabun.jp/</a>
-----	-----------	--------------------	---

### 2 施設の概要

設置年月	昭和63年12月	根拠条例等	長野県文化会館条例
設置目的	県民の文化の振興と福祉の増進を図るため設置する。		
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大ホール(1,371席)・・・舞台設備、音響設備、照明設備、楽屋(5室)</li> <li>・小ホール(436席)・・・舞台設備、音響設備、照明設備、楽屋(2室)</li> <li>・美術展示ホール、プラネタリウム(80席)、レストラン(104席)、駐車場(普通車590台・身障者用6台、近隣施設と共用)</li> </ul>		
利用料金	大ホール(32,200～388,300円)、小ホール(8,500～102,400円)、楽屋(800～5,900円)、美術展示ホール(4,400～27,770円) プラネタリウム(120～400円)、その他「附属設備」「冷暖房」「持込電気器具電気料」など		
開所日	毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始(12月28日から1月3日まで)及び保守点検日を除いた日		
開所時間	通常:9:00～17:00、最長:8:00～21:30(ただし、美術展示ホールは18:00まで)		

### 3 現指定管理者前の管理運営状況

期 間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	財団法人長野県文化振興事業団
平成18年度～20年度	指定管理	財団法人長野県文化振興事業団
平成21年度～25年度	指定管理	一般財団法人長野県文化振興事業団
平成26年度～30年度	指定管理	一般財団法人長野県文化振興事業団

### 4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	一般財団法人長野県文化振興事業団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)
選定方法	非公募		

### 5 指定管理料(決算ベース)

令和2年度(A)	令和元年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
205,908 千円	192,633 千円	13,275 千円	
	増減理由	新型コロナウイルス感染症による影響額等を指定管理料に反映したため。	

### 6 指定管理者が行う業務

<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・文化会館の利用の許可及び利用料金に関する業務</li> <li>・芸術文化の振興に資する事業の企画及び実施に関する業務</li> <li>・上記業務に附帯する業務</li> </ul>
--

### 7 利用実績等

#### (1) 利用実績【指標:稼働率】

(単位:%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度(A)	0.0	0.0	14.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.1	29.0
令和元年度(B)	36.0	50.0	53.8	60.6	59.6	70.7	76.9	72.1	45.7	36.5	55.2	5.2	52.3
(A)/(B)	0.0	0.0	26.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1232.7	55.4
増減要因等	新型コロナウイルス感染症の影響により、4/19～5/31は臨時休館のため利用なし。また、7/1～2/28まで大規模改修工事のため休館。												

#### (2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度(A)	-2,532	378	566	720	579	235	950	649	474	82	88	1,286	3,475
令和元年度(B)	995	2,535	2,892	1,612	3,442	2,574	2,420	1,042	1,499	940	1,463	831	22,245
(A)/(B)	-254.5	14.9	19.6	44.7	16.8	9.1	39.3	62.3	31.6	8.7	6.0	154.8	15.6
増減要因等	新型コロナウイルス感染症の影響により、4/19～5/31は臨時休館のため利用なし。また、7/1～2/28まで大規模改修工事のため休館。												

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有	施設更新に伴いプラネタリウム利用料金を改正(令和3年3月3日施行)。 [個人:一般240円→400円、小・中学生100円→150円、団体:一般190円→320円、小・中学生80円→120円]

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和2年度(A): 62日	令和2年度(A): 9:00~21:30	無	
令和元年度(B): 301日	令和元年度(B): 9:00~21:30		

(5) サービス向上のため実施した内容

申込期限を過ぎても可能な限り期間外申請を受けるなど、利用者の要望に応えた。  
また、閑散期(4月)の割引、申込期限(40日前)を過ぎてからの時間貸し制度を行うなどして利用促進を図った。

(6) その他実施した取組内容

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策(検温器の設置、消毒液の設置、イベント後の客席等の消毒の実施等)  
建物周囲・ロビー・洗面室等の清潔さを確保するほか、植栽の管理を行った。

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

運営協議会や利用者懇談会を開催し、樹木による敷地面の隆起、会館の改修工事、新型コロナウイルス感染症対策等の管理運営面や美術展示ホールの自主事業のあり方、プラネタリウムの利用促進など多方面について多くの意見をいただき、今後の運営に役立てることができた。  
会館の大規模改修工事により、音響や客席環境が向上したほか、プラネタリウムも新しくなり、利用者から好評を得ている。会館運営に支障のある樹木は伐採する予定である。  
また、以前から課題のリハーサル室の増設や駐車場の確保については、伊那市等関係部署と調整を進めている。  
自主事業の際には、来場者にアンケートを依頼しており、計33人(回答率4.5%)の方々から回答をいただき、内容については良い以上の回答が90.9%、職員の対応については良い以上の回答が93.9%と高評価を得ている。  
今年度の自主事業については、大規模改修で開館期間が短く、加えて新型コロナウイルス感染症の影響もあり、19事業を計画したが10事業の実施にとどまったが、今後は、徹底した感染症対策を行いながら、できる限り地域のニーズに応え、多様な催し物を開催できるよう検討してまいりたい。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	「県民の文化振興と福祉の増進」を使命として、「提案書」「計画書」に掲げた目標達成に努めた。 管理運営者として要求される「サービスの向上」と「経費の縮減」に沿って、管理運営を行ってきた結果、主要業務である「施設管理」「貸館事業」「自主事業」において、概ね計画どおり業務を遂行できた。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、改修工事前(4月~6月)は、貸館の大部分がキャンセルとなり、予定していた自主事業の多くが延期・中止となった。 管理運営については、安全な施設管理を行うとともに、電力使用量の節減を図るなど環境に配慮した運営に努めた。 財政的にも効率的な運用に努めた結果、計画どおりの収支となり純益も出すことができた。 貸館事業においては、利用者の平等利用に努め、利用者の立場に立った貸館サービスを行った。 このように、幅広いニーズに対応した事業を展開し地域文化の振興に貢献することができた。	基本協定書、仕様書及び年度計画書に基づいた管理運営が実施されたと認められる。	B
平等な利用の確保	・会館を利用しようとする人・団体を制限していない。 ・主に南信地域の幅広い地域の人々へ、また学び、参加し、創造し、発信しようとする幅広い県民へ、グループ・個人を問わず公平平等な利用の確保に努めた。	平等な利用が確保できたと認められる。	B
利用者サービス向上の取組	・HPの更新、メディア(プレスリリース)、「イベントガイド」等で県民への情報提供を図った。 ・イベントアンケートや利用者懇談会等を通じて利用者意見を取り入れた。	・HPを更新し、利用者サービスの一層の向上を図っている。 ・アンケートや利用者懇談会等を通して利用者のニーズの把握に努め、利用者の意見に対して柔軟に対応している。	A

項目	指定管理者	所管課	評価
自主事業	<p>地域文化の振興に貢献するため、オペラ公演やファミリーコンサートなど19事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響から中止や延期となった事業も多く、合計10事業を実施した。</p> <p>主な自主事業の状況は以下のとおり。</p> <p>①アウトリーチ展覧会(12月13日～20日) 長野県ゆかりの若手芸術家支援事業「next(ネクスト)」の一環として、県内出身の画家「高野結花」の展覧会を駒ヶ根市の市立博物館で開催した。 若手作家の感性溢れる作品を多くの方に鑑賞していただいた。</p> <p>②伊那谷で育った中村不折(なかむらふせつ)に続け!子どもたちの書初め書道展(3月3日～7日) 上伊那地域全市町村と松川町の小学校から子どもたちの書初め作品を募集し、当館の小ホールと地元信金の本店・各支店でも展示して多くの方に鑑賞していただいた。</p> <p>③プラネタリウム 「コラボプラネタリウム」「星空さんぽ」などの特別投映を行い好評を得た。コラボプラネタリウムでは、開館以来使用してきた星空投影機「GX-AT」の最後の投映を行った。コロナ禍により定員を20名に制限して予約制で行ったが、早くに満席となり大変好評であった。</p> <p>④中南信地区 中・高生によるこけら落としコンサート(3月28日) 当館のリニューアル後初となる大ホール主催事業として、中南信地域の吹奏楽部に所属する中学生、高校生が参加するコンサートを開催した。 コロナの影響で多くのコンクールが中止となり、特に3年生のステージ発表機会が失われていたことから、この公演を通じて改めて子どもたちの発表の場を設けることができ、参加者からも大変好評であった。</p> <p>⑤いなぶん・こどもフェスティバル2020(4月29日)※中止 新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。</p> <p>⑥オペラ「ばらの騎士」ハイライト(6月20日)※延期 新型コロナウイルス感染症の影響により次年度に開催を延期した。</p> <p>⑦アウトリーチコンサート(12月6日)※延期 新型コロナウイルス感染症の影響により次年度に開催を延期した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止や延期となった事業がある中で、地域文化の担い手を育てる子ども・若者向け事業の充実が図られている。また、音楽以外にも美術やプラネタリウム(天文)など施設の特色を活かした事業が広く展開されている。</p>	A
職員・管理体制	<p>職員17人(うち1人育休)。 協定書(事業計画書)に基づき館長、副館長、総務・事業・舞台課を配置。 課長等以上で構成する検討会議を設置し、管理運営等事項について検討・決定した。 検討結果については、調整会議、各課会等で全職員に周知徹底した。</p>	<p>仕様書及び年度計画書に基づく適正な職員配置が行われている。</p>	B
収支状況	<p>一般会計は、収入211,801千円に対し支出206,796千円であり、収支差額5,005千円の黒字となった。</p>	<p>収入の確保及び経費の削減に努め、効率的な管理運営を行っている。</p>	B
総合評価	<p>今年度は、大規模改修工事があったほか、新型コロナウイルス感染症の影響による催し物の中止・延期が生じ、実施できた事業は例年に比べ少なかったが、感染症対策を徹底しつつ、地域連携・地域参加型といった当館の特徴を活かした事業を行い、地域の文化芸術の振興に資することができた。 管理運営面においては、多くの声に耳を傾け、県民サービスの提供を行った。 また、財政的にも効率的な運用に努めた結果、純益を出すことができた。 このように、全職員が一丸となって事業運営に取り組んだ結果、求められる成果を十分果たすことができた」と評価している。</p>	<p>施設改修によるリニューアルオープンを迎える中で、利用者サービス向上のための取組や事業実施に工夫が見られた。概ね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。</p>	B

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。  
C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。  
D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<p>大規模改修事業(7月~2月)により、十分な耐震性確保と大・小ホールの音響環境の向上、客席の配列・席幅の改善、プラネタリウムの全面更新等を図ることができた。</p> <p>しかしながら、開館以来のリハーサル室の増設や楽屋の十分な確保等が必要であるほか、恒常的な駐車場の不足や成長しすぎた施設敷地内の樹木により、管理運営上、支障が生じている。</p> <p>また、利用者へのサービスの向上を図るためには、専門性・経験・技術の継承や向上が必要で、引き続きプロパー職員を増員するほか、研修等をさらに充実させていく必要がある。</p> <p>さらに、会館はリニューアルを迎えるも、新型コロナウイルス感染症が収束しないなか、可能な限り事業を実施し県民の文化向上に寄与し、収益の改善を図るためには、常に変化する感染状況に応じ、事業関係者・利用者の理解と協力を得ながら、いかにして安全・安心を担保できる適切な対策を講じることができかが課題である。</p> <p>貸館や自主事業の集客については、新型コロナウイルス感染症の影響は別として、長期化する景気等の変動や、趣味嗜好の多様化、少子高齢化などの影響により、かなり苦戦が予想される。</p> <p>また、イベント契約額が年々増加しており購入困難が予想されている。</p> <p>今後は、魅力あふれる自主事業の組み立て方などを十分検討し、情勢にあった事業展開を検討する必要がある。</p> <p>改修工事に伴う長期の休館により、利用者離れを起こす心配がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設や設備の課題に対しては、県全体のファンリティマネジメントの中で、計画的な修繕、改善を行っていく。</li> <li>利用者サービスの更なる向上のための取組をお願いしたい。</li> <li>感染症防止策については、状況に応じて、引き続き取組をお願いしたい。</li> <li>社会経済情勢や人口動態を踏まえ、特色ある事業を引き続き展開していただきたい。</li> <li>リニューアルオープン之机ををとりえ、効果的な情報発信等を行いながら、利用促進に努めていただきたい。</li> </ul>

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和2年11月10日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
地域に密着した施設の特徴を活かした取組を、地域と協力して進めるとよいのではないかと。	部活動で利用が多い高校等との連携を一層密にし、利用を促す方策や協力した自主事業を検討するなど、特徴を活かした運営に努めてまいります。	地域と連携しながら、引き続き特色ある取組を実施していきたい。
施設利用料金の減免制度について積極的な広報を行い、利用者の増加を図る取組をお願いしたい。	利用の促進と利用者の利便性の向上のため、施設利用料金の減免制度や利用申込方法については、ホームページによる広報を行っていますが、よりわかりやすいものになるよう努めてまいります。	減免や割引制度について幅広く周知いただき、引き続き利用促進につながる取組をお願いしたい。
託児サービスの一層の充実や、親子で来館できるサービスの充実をお願いしたい。また、地域(中学校、高校等)の行事を含めながら、身近で親しめるようなものを行うことは、利用者のサービスの向上につながると思う。	託児サービスについては、現在、新型コロナウイルス感染症対策のため中止していますが、より利便性が高められるよう、感染状況を見ながら、感染対策を含め、場所、方法、広報について検討します。	多くの地域住民に気軽に足を運んでいただけるような取組の充実をお願いしたい。
今後スマートフォン、パソコンを使って情報収集を図る傾向は一層強まると思われることから、利用者目線に立ったホームページの充実に努めてほしい。また、フェイスブックやツイッターなど、SNSでの情報発信を進め、若年層への情報提供をより積極的に行ってほしい。	ホームページについては、利用者の利便性の向上のため、デザインや構成を見直し、全面的にリニューアルをし、スマートフォンやタブレットでの表示にも対応できるよう改良しました。SNSについては、有効な情報発信ツールであることから事業団全体で活用することとなり、令和3年6月から運用体制を整え公開を開始したところです。内容については、効果的なものとなるよう工夫していきます。	引き続きSNS等を活用しながら、効果的な情報発信をお願いしたい。
地元の中・高校生の利用も多いとのことから、地元の中・高校生や出身者が鑑賞者、あるいは出演者となり、次世代の文化の担い手となるような自主事業は、当施設の特徴を活かした企画となると思われる。	上伊那・下伊那地域出身者によるコンサートなどを含め、多様なジャンルの自主事業を実施します。令和3年度事業では、地元の中・高校生合唱部生徒が参加する合唱祭を予定しています。	地元の中・高校生が参加できるような、会館の特徴を活かした自主事業を引き続き実施していきたい。
職員体制について、事業課長などの欠員がみられるが、組織運営上支障のない配置に配慮してほしい。	事業課長の配置も含め、職員体制については引き続き検討していきます。また、催し物の時間に合せシフトを組むなど、勤務体制を工夫しています。	利用者サービスとの均衡を図りながら、弾力的な勤務体制による運用をお願いしたい。